

# The camp Iiyama

里山×学び×スポーツ×交流で未来につながる拠点

## 旧城南中学校利活用事業 事業概要

※現時点での計画であり、今後変更となる可能性があります。

## 資料2

2026/5/24  
栄フロンティア株式会社

### 計画概要

自然豊かな立地と既存の資産（建築）を生かして、宿泊・合宿・学びの拠点を創ることを目的とします。

グラウンドは部活動・社会人クラブチームなどで利用できるように広さを確保します。隣接公園との一体利用できるようつながりあるスペースと地域住人も利用可能な休憩所を計画します。

既存の建物の中で、耐震の現行基準になっているものについては残置して、運動・イベント・備品庫などに活用します。

宿泊施設については4人部屋を中心とし、大人数の宿泊に対応できるような大型バスを含めた駐車場を計画しています。

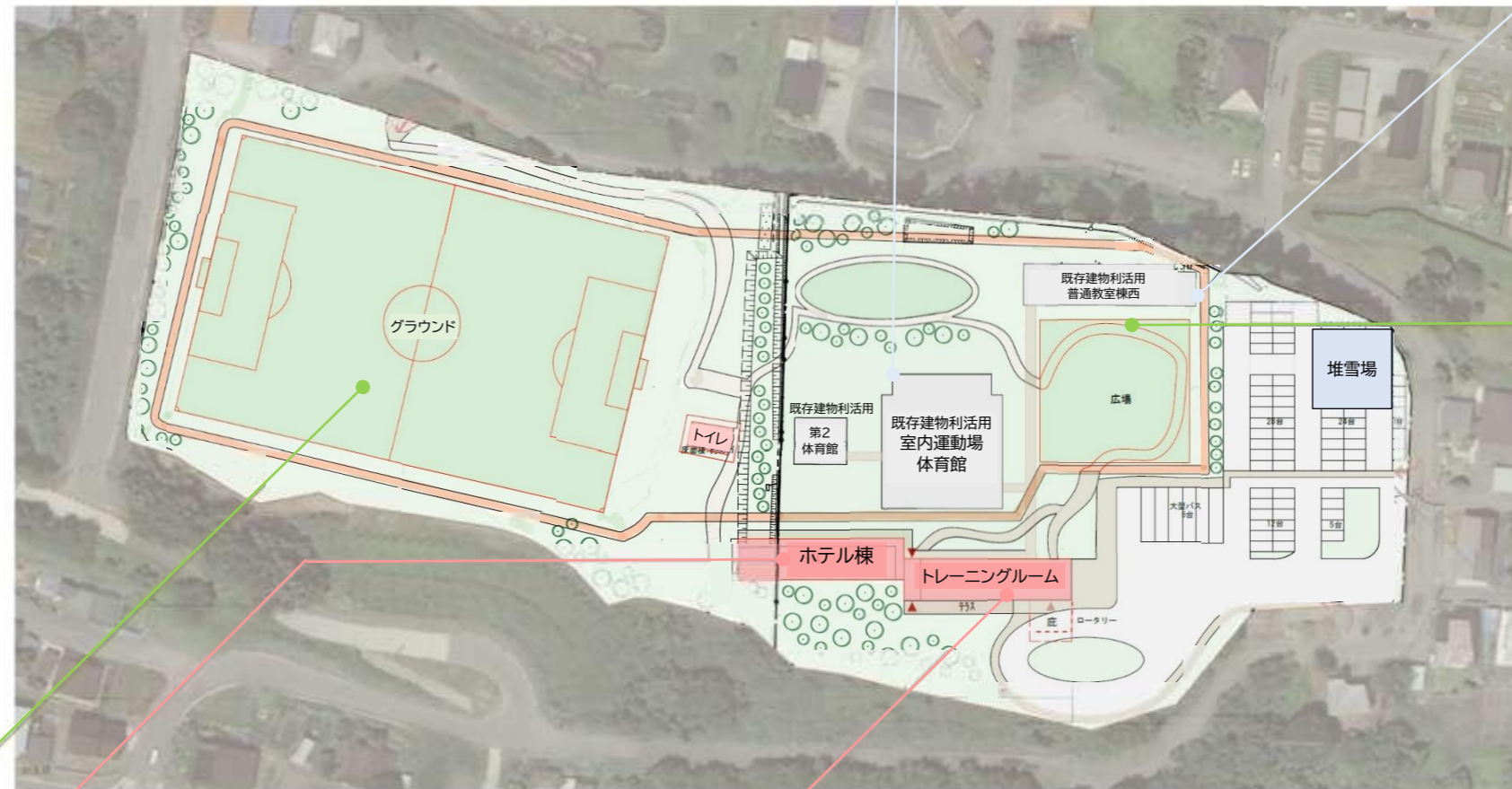
### 体育館 ※既存建物利用

屋内型スポーツの合宿としての利用を想定しています。その他研修や室内におけるイベント等の利用を想定し、市民の拠点となるよう目指しています。



### 普通教室棟西

部活動の備品庫や打合せスペース、休憩所としての利用を想定しています。



### 広場

フットサル程度の規模のスポーツや地域の物産などの販売も行えるようなイベントを行える広場として想定。

### 駐車場

車 87台  
大型バス 6台

バスは合宿等の想定を考慮しています。

### グラウンド

サッカーコート一面分の広さを確保します。合宿や短期集中利用での活動を想定しています。



### ホテル棟（新築3階建て）

夏は中高校の部活動の合宿を行う学生の宿泊を想定。  
冬は近隣スキー場来訪者の宿泊を想定。

客室想定 シングル：4部屋  
ダブル：5部屋  
4人部屋：25部屋



### トレーニングルーム ※ホテル内施設

既存体育館にフィットネス器具を設置し市民の皆様も利用できるように検討をしています。



## 旧城南中学校利活用事業 飯山市負担金の考え方について

旧城南中学校の敷地内建物(校舎等)については、築年数が約60年という建物が多く、利活用を推進するためには、建物等について耐震補強工事又は、解体撤去することが必要になります。

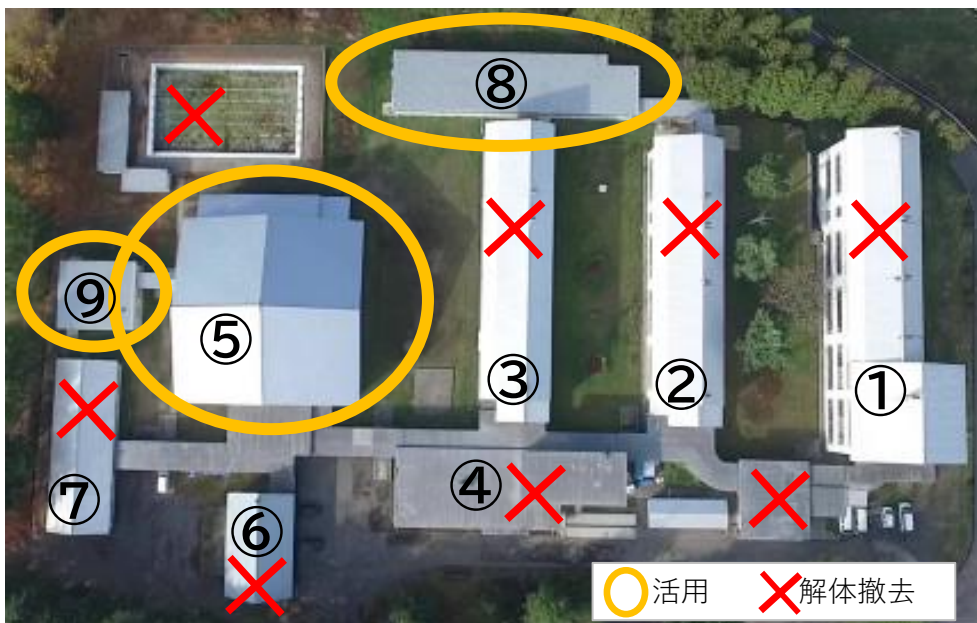
旧城南中学校を利活用するにあたり、今回の事業公募では、敷地内の建物等について、既存の建物を活用する場合は、耐震改修工事が必要なものは耐震改修等を行って活用する。また、既存の建物を活用しない場合は解体撤去を行う内容で行っています。

今回の栄フロンティア株式会社の事業計画においては、次の配置図のとおり、校舎等については解体撤去を行い、体育館については耐震改修等を実施して活用、第2体育館、普通教室棟西についてはそのまま活用するとの事業計画です。

また、事業手法としては、校舎等の建物については栄フロンティア株式会社へ無償譲渡を行い、事業者側で解体撤去工事、耐震改修等工事を実施していただき、市は所有者の責任により、解体撤去費用、耐震改修等の費用を負担いたします。旧城南中学校の利活用においては、行政と民間企業が連携して公民連携事業として推進していきます。

なお負担金については、栄フロンティア株式会社の運営を補助するものではありません。

旧城南中学校 校舎建物等の配置図(利活用の有無)



公募要項において、耐震改修等の工事をした場合または、解体撤去を行った場合について、負担金額を定めております。今回の計画では、下記の表の①、②、③、④、⑥、⑦、その他の解体撤去費用について、飯山市は公募に定めた額を上限に負担します。

また、⑤については、耐震改修等の改修工事に必要な額について、飯山市は公募で定めた額を上限に負担します。⑧、⑨については、飯山市は耐震改修等の負担はありません。

なお、⑤の体育館については、改修後は災害時の避難所として活用させていただく計画です。

番号	建物名	構造等	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震工事	解体	活用
①	普通教室棟(3階連)	鉄筋コンクリート造	S41	1709	—	解体	×
②	特別教室棟北(2階建)	鉄筋コンクリート造	S41	853	—	解体	×
③	特別教室棟南(2階建)	鉄筋コンクリート造	S41	882	—	解体	×
④	管理棟(2階建)	鉄筋コンクリート造	S40	451	—	解体	×
⑤	屋内運動場(体育館)	鉄骨造	S41	950	耐震改修	—	○
⑥	音楽室(平屋建)	鉄筋コンクリート造	S41	137	—	解体	×
⑦	特別教室(平屋建)	鉄骨造	S41	243	—	解体	×
⑧	普通教室棟西(平屋建)	軽量鉄骨造	H21	396	不要	—	○
⑨	第2体育館(体育館)	軽量鉄骨造	H21	138	不要	—	○
その他	プール、通路他、立木伐採					解体	×

第3回 飯山市旧4小学校利活用ビジョン検討市民会議 議事録概要版

令和8年(2026年)4月24日 開催8:30 ~ 10:15

会議概要

今回の第3回「旧4小学校利活用ビジョンの検討市民会議」では、目指すべき利活用ビジョンの提言書に関する議論が行われ、具体的な提案が多数出されました。また、本市民会議を通じ、既存の課題に対して現実的な意見を反映した解決策が提示され、地域の特性を最大限に活かす意見が確認されました。

旧4小学校の跡地を単なる施設として利用するだけでなく、総合的な地域活性化や人の繋がりを促進する場として期待される方向性が共有されました。この会議を通じ、利活用ビジョン提言書(案)策定に向けて重要な方向性が確認されました。

【会議開始と委員長挨拶】

会議は田中委員長による挨拶から始まり、委員長は前回の会議の熱量と、多くの意見が出たことを称賛し、これらの意見を次の段階に進めていく方向性を示しました。

【議事録概要版の公表】

前回までの会議内容をまとめた議事録概要版の公表を報告。これによって議論の継続性が確保され、この概要版はホームページを通じて市民に公開されるため、透明性のあるプロセスの確保が期待されます。

【旧4小学校利活用想定】

事務局から現時点での市としての利活用想定が報告され、具体例として地域の活性化センター、避難所備蓄倉庫の利用、美術品の倉庫、図書館書庫、子育て支援施設などが挙げられました。これを基に、地域特性を活かした具体的な利活用が求められており、参加者からも活発な意見が交換されました。

【市の利活用ビジョン提言書案の構成】

事務局からビジョン案の概要説明が行われました。基本方針として「民間活用の積極的活用」「多世代多機能型の複合化」「防災行政機能の確保」「各小学校の立地特性の活用」「段階的な利活用」の5つの方向性が示されました。特に「子育て」「住みよい田舎」のテーマが強調され、地域の課題解決を目指す具体策が議論の中心となりました。

【子育て世帯と若者定住への提案】

参加者からは、飯山市の子育て世帯を引き寄せる手段として、統合された小学校を活用した支援施策の可能性や、移住定住促進の重要性が提案されました。特に、地域における働きやすさやキャリア構築の課題が指摘され、若者が地域に戻りやすい環境整備の必要性が強調されました。

#### 【コミュニティの閉鎖性とつながりの促進】

委員より、移住者が感じるコミュニティの閉鎖性についての課題を述べました。地域で他の方と知り合いを作る場が限られている現状から、人の繋がりを促進する仕組みと、それを支える活動の具体策が必要であるという意見が出されました。コミュニティの閉鎖性を克服する試みが地域の活性化に果たす役割が議論されました。

#### 【創業支援の拡充】

委員より飯山市での創業者数が増加しているという報告があり、続いて、女性が創業しやすい環境の重要性を指摘しました。地域における創業を促進する上で、特定施設の提供や行政のサポート体制が議論され、この点での他との差別化の必要性が確認されました。

#### 【農業と世代間交流の提案】

委員より農業の継承や世代間交流の事例が紹介され、高齢者を巻き込んだ農業活性化や若者との連携を深める場作りの提案がなされました。農業が単なる作業ではなく、地域の一体感や教育的な価値を提供する場としての可能性が議論されました。

#### 【飯山市の強みを活かした観光と地域資源】

複数の委員から、飯山市が持つ自然環境や歴史的資源を活かした観光事業やPR戦略の重要性が提案されました。特に、他との差別化の要素として「飯山市ならではの魅力」が議論され、この強みをコンセプトに地域活性化を目指す方向性が確認されました。

#### 【キャッチコピーと地域内外へのアプローチ】

最後に、飯山市をPRするキャッチコピーの重要性が指摘されました。キャッチコピーが市民にとっても外部の人にとっても共感される内容であるべきだという意見が共有され、継続的なプロモーション戦略の必要性が確認されました。

#### 【今後のスケジュール】

次回以降の予定について確認されました。次回の第4回目の市民会議で利活用ビジョン提言書の素案をまとめ、その議論を進め意見を反映し、第5回目に完成版の提言書を作成する方向性が示されました。この提言書を基にサウンディング調査や聞き取り調査を実施し、引き続き利活用の事業者公募を実施していく予定です。